

# ののうち誠

vol. 4

〒699-0108  
松江市東出雲町出雲郷1670  
電話・FAX (0852) 52-3117



ホームページを開いています。ブログもやっています。  
お気軽にケイタイからご覧いただけます

## 議会報告・後援会だより

E-mail: nonouchi@mable.ne.jp  
HP: http://www.mable.ne.jp/~nonouchi

発行日: 2012.7.20

### 遊が織りなす東出雲



松江市は「松江市総合計画後期基本計画（2012年～2016年）」を本年3月に策定しました。総合計画ですので文字通り市行政全般の指針となるもので、平成24年度から5年間にわたっての主要施策や主要事業がまとめられています。

さて、野々内は東出雲町の行政に長らく関わってきました。そして、平成4年度に企画調整係長として町として初となる本格的な総合計画（東出雲町中期計画）の策定を担当し、平成12年度には次の総合計画となる「東出雲町基本構想・長期計画」策定に課長として関わりました。総合計画は行政の全分野に関わり、財政計画と照らしながら住民の皆様の意見要望は最大限盛り込む必要があり、そのため、多くの住民の皆様との話し合いやアンケートなどに汗を流した思い出が昨日のこのように思い出されます。大きな計画ほど内容にあったまちの目指す像を、キャッチフレーズなどで示

すことが必要だと考えます。夢や希望を込めた華が求められるのです。平成4年度の中期計画は「ほっとハート・東出雲」とし、後に町のC I（コーポレート・アイデンティティの略）のキャッチフレーズになりました。

平成12年度の基本構想・長期計画のキャッチフレーズは、「ゆう（遊）が織りなすベストバランスのまち東出雲」としました。「遊」を使うのはどうかという声も聞きましたが、自治体でも独創的でオンリーワンと言える発想と発信が求められています。東出雲町では「ゆう（遊び）」を軸に「ゆう」の読みを、裕（ゆとり）優（やさしさ）友（ふれあい）勇（たくましさ）と続け、各分野の施策のタイトルとしました。「ゆう」のヒントは古代からの当地方の神話からつながる「意宇（ゆう）」にあります。そして「遊」は車のハンドルにも遊びがあるように無駄なように必要なもので、私たちの生活にも必要です。遊びのない生活はぎすぎすとし、すさんだような印象を受けます。「遊」は豊かさです、安らぎです。地域の遊びとは文化の振興やコミュニケーションの拡大を指すのだと野々内は思います。

松江市と合併した今でも、明日への希望を持った取り組みが求められます。東出雲はいつまでも遊が織りなす心豊かな地域であってほしいと願っています。野々内もそのためにがんばります。

### 6月市議会

6月市議会は6月13日から29日までの会期で開催。平成24年度補正予算では八束支所内に開設される中村元記念館整備事業補助金の3500万円のみで、この一般会計補正予算案など32議案、意見書案3件を原案通り可決しました。このうち、次回の市議会議員選挙から議員数を34人とする「松江市議会議員定数条例の制定について」も全会一致で議決しました。（予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください）

#### 野々内は6月議会でも一般質問を行いました

合併によって私たちの身の回りは様々な変化がみられます。また、野々内にも沢山の皆様からの相談や質問をいただいています。その中の3点を松浦市長や松江市執行部にいただきました。（一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています）

# 一般質問を

## 行いました

Q1、まち歩き観光にまちの駅の活用を



松江市はまち歩き観光に力を入れていますが、その拠点となる案内所は公設のJR松江駅と松江歴史館の2カ所だけです。全国のまち歩き観光の60の先進地では、市内各所にまちの駅を配置し、観光客に身近な立ち寄り場所を提供しています。これらの取り組みの特徴は、民間の力が最大限活用でき、しかも登録要件が簡単で、設置運営に大きな経費がかからないことです。さらに、まちの駅の共通看板がランドマークとなり、同一のサービスが受けられる安心感でまち歩きを楽しむことができます。

そこで、本市のまち歩き観光への取り組みの状況から、まちの駅事業の導入で点から面に拡大をした身近な案内所設置をしたらよいと思います。

(A)松浦市長：今

まち歩き観光をこれからのポスト400年祭として考えています。平成の開府元年まちづくり構想の中でも、景観の連続性やおもてなしという面からも、金



▲東出雲まちの駅女寅

沢のように時間をかけてイメージ化を図っていききたいと思います。

まちの駅というご提案では、私もそういうことは極めて大事なことで、ここを訪れた人にとっても大変大事だと思っています。まち歩き観光では、身近な立ち寄りスポットは必ず必要で、情報がもらえるスポットを増やしていくことは、大変大事なことでと思っています。

今後観光協会が中心となって、地域の方々の場所や商店街の活用、あるいは商店街にたくさんの方々が来ていただくという点でも、これは有意義な話だと思っていますので、そうした地域の皆さん方と一緒に取り組んでいきたいと思います。

そうした立ち寄りスポットをまちの駅として位置づけるかどうかについては、今後関係者の皆さん方と検討していききたいと思います。

旧八束郡の主要観光地を結ぶネットワークについても、連続性を持たせることで活用できるのではないかと思います。

(A)松浦市長：広域的な観光ルートを考える上においては、所要所に案内所は必要で、また議員のご意見等もいただきながら考えていきます。

### Q2、元気な高齢者対策・介護 予防事業に全力をあげよ

介護保険の利用増や老人医療の公的負担増による財政圧迫が進む一方で、少子高齢化が進み、公費の担い手が少なくなっ

ています。これらは今後改善の見込みはなく、社会保障システムを変えることは喫緊の課題となっています。そうしたことから、元気高齢者の増大で財政を救う取り組みが急ぐ課題であると考えています。

本市の高齢者の健康長寿の課題である、生きがいと社会参加の取り組みは余りにも弱いと言わざるを得ません。東出雲町の平成20年の要介護認定率は13.35%、松江市では平成21年が17.6%でした。したがって、第4期の介護保険料額は東出雲が3,650円、松江市が4,200円。この違いは、東出雲町では介護予防拠点施設事業や日常的な居場所づくりを行ってきたからだと思います。

本市では、なごやか寄り合い事業など、積極的に地域を取り込んだ事業が展開されていますが、さらに総合的で積極的な取り組みが必要であると考えます。介護保険事業での予防事業はシステム上限界があり、市単独事業で実施をする考えはありませんか。

(A)田中健康福祉部長：昨年策定した第5期松江市高齢者福祉計画・介護保険事業計画では、生きがいづくり・社会参加の促進を施策の柱と位置づけました。高齢者が充実した生活を送るには、生きがいを感じなが



▲東出雲おちらと村

ら積極的に社会の中で活動できる環境をつくる必要があります。

具体的には、この計画の中でボランティアの発掘や育成等による活動の促進、シルバー人材センターへの支援を通じた就労の推進、なごやか寄り合い事業の充実、老人クラブ事業を公民館事業とも連携し、総合的に積極的な取り組みを進める考えです。

市の単独事業としては、ボランティア活動の推進やシルバー人材センター、老人クラブの支援に力を入れていくほか、福祉バスの半額割引を始めるなど、介護予防、健康づくりにつなげたいと考えています。

高齢者クラブに入らない多くの皆さんの支援もお願いをします。

つぎに、厚生労働省が6月1日に政府が進める健康づくり事業、健康日本21の第2次計画(2013年～2022年)の内容を固めたとマスコミが伝えています。この中では、介護が必要なく自立して元気に過ごせる期間を示す健康寿命を延ばす目標を初めて盛り込んだということです。本市の対応をお聞かせください。

(A) 田中健康福祉部長：今年度に策定する第2次の健康まつえ21基本計画に新たに健康寿命の目標値を設定し、高齢者の方々が地域でいつまでも生涯現役で暮らせる真に豊かな長寿社会の実現を目指したいと考えています。

Q3、道路・河川愛護団体等の登録による助成制度を、全市のまちづくりの種としてとらえ、拡充する考えはないか

本市では、道路・河川愛護団体等の登録による活動支援の制度がありますが、この基本委託料は1団体1万円と非常に安く、さらに、企業系団体には委託料は出ず、公の施設管理に協力する企業にも何らかの支援が必要ではないかと考えます。

また、自治会等の団体に委ねることは、地域のきずなの強化、市民としての自助努力の醸成などさまざまに効果が期待できます。業者委託の一部を市民団体に振り替えることで、市にとつては大きな経費軽減にもなり、税金の生きた使い方ではないかと思えます。

道路・河川愛護団体等の登録による助成制度を全市のまちづくりの種としてとらえ、拡充する考えはありませんか。

(A) 石倉建設部長：本市では、愛護団活動による維持活動と、交通量が多い場所や高所など危険な箇所は市から直接業者に委託との両方で対応しています。愛護団活動への委託料はわずかな金額で



▲東出雲町錦新町「やまもも通り」

すが、地域の環境整備や地域の皆さんと協働していく観点からご理解をいただいています。まだ愛護団のない地域は、住民組織を立ち上げて協力いただくよう、引き続き全市的に取り組みます。

また、美化活動における花の種や花の苗は、環境保全課のごみ減量貯金箱事業において経費の支援制度が、堆肥は公園緑地課のクリーンコンポ事業で堆肥の無料支給があります。

※一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています  
※フェイスブックもやっています

## 9月議会予定

9月12日(水)本会議、決算特別委員会

18日(火)一般質問

19日(水)一般質問

20日(木)一般質問・議案質疑・委員会付託

21日(金)決算特別委員会(質疑、分科会委託)

24日(月)～25日(火)

総務委員会、教育民生委員会

26日(水)～27日(木)

経済委員会、建設環境委員会

10月2日(火)決算特別委員会

(分科会長報告、採決)

5日(火)本会議(委員長報告、討論・採決)

# 活動報告 最近の活動から

## 被災地を訪問しました

松江市議会経済委員会は、5月16日から3日間、行政視察で岩手県を訪問しました。このうち、東日本大震災で大きな津波被害の出た宮古市で、被災状況視察や水産業振興策を調査しました。

宮古市はこの震災での震度は5強から5。津波は最大で8.5m以上(気象庁発表)、遡上高(陸を駆け上がって到達した高さ)は最高の38.9mで、多くの死者・行方不明者を出しています。



▲東日本大震災で大きな津波被害の出た宮古市

被害の大きかった田老地区を訪ねると、がれきは集められて市内にはなく、基礎コンクリートだけが広がります。海拔10mの巨大津波堤防も17mといわれる津波の前には、なすすべもなく、跡形もない惨状に言葉を失いました。

災害は忘れた頃にやってくる。日ごろの備えの重要性を再認識すると共に、被災地の一日も早い復興を祈らずにはおれません。

## エコクリーン松江の事故は施工のミス

6月11日開催の、松江市議会全員協議会で「エコクリーン松江溶融炉鉄皮損傷の原因調査」が報告されました。会には、工事を行った新日鉄エンジニアリング(株)、第3者機関として日本環境衛生センター、施工監理の東亜テクノロジーの三社の担当者も出席しました。昨年4月の開業から半年もたたないうちの事故の総括として、「鉄皮損傷の原因は、溶融炉の立ち上げ時、局部的・一時的に炉内温度が上昇する現象(1500℃以上で継続時間8時間以上)に対し、鉄皮表面に保温材を設置したことで放熱が妨げられ、断熱材及び鉄皮が損傷温度に達したためと断定する。また、保温材を設置しなければ、同様な炉内温度の上昇が発生しても、鉄皮からの放熱により断熱材及び鉄皮は損傷温度に到達せず、損傷しないことを確認した。」と自己責任による事故と報告しました。議員からは、災害廃棄物処理への影響、今後のごみ処理への影響、保温材の設定等の質問がなされました。今後市は恒久対策の協議を進めます。

## 小学生の社会見学のお手伝いをしています

7月3日、出雲郷小学校3年生の「社会見学 町内めぐり」の案内役を務めました。毎年この時期に学校からの依頼を受けて数回日のお手伝いです。今までは午前中の予定でしたが、町内を3時間では説明も不十分で回りきれず、今年は午後まで時間を延長してもらいました。午前9時、小学校から2台の中型バスに乗り込み出発し、所々止まって説明したり、数箇所はバスから降りて見学しました。町内を一周し、中海You遊公園で昼食。時おり梅雨の雨にあいながら、約6時間の見学を終えました。東出雲地域は、黄泉比良坂神話や国引き神話、あしたかのかっぱの民話など、歴史に彩られたお話の宝庫です。皆さんも東出雲のじまんの場所めぐりにお出かけください。そして、東出雲の良さを実感してください。



▲島根の銘水100選にも選ばれている高清水神社(下意東)

## ののうち誠 後援会です

ののうち誠講演会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。

この度後援会だよりvol.4を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

**後援会にご加入いただき  
一緒にまちづくりをしていきましょう。**

後援会事務局  
松江市東出雲町出雲郷1670

ALL FOR HIGASHIIZUMO

## プロフィール

昭和25年11月26日生まれ、61歳。  
妻と死別し母と2人暮らし、子ども2人(結婚し独立)  
住所/松江市東出雲町出雲郷1670  
電話/0852-52-3117(FAX兼用)  
【学歴】  
昭和44年3月/島根県立松江農林高等学校卒業  
【職歴】  
平成11年4月1日/東出雲町企画財政課長  
平成13年4月1日/東出雲町保健福祉課長  
平成17年7月11日/東出雲町教育委員会教育次長  
平成21年4月1日/東出雲町総務課長  
平成22年4月1日/東出雲町参事  
平成23年8月/市議会初当選  
【活動歴】  
出雲郷公民館主事(11年間)、出雲郷公民館運営委員、  
体育協会出雲郷支部事務局、消防団第三分団部長、  
出雲郷小学校PTA会長(3年間)、町PTA連絡協議会会長、  
松江市農業委員